

特殊詐欺に 遭わないために!

近年、特殊詐欺による被害が相次いでいます。昨年、旭川市で特殊詐欺として警察署に被害届が出されたのは8件で、被害総額は約9,605万円。今年は6件で、約1,500万円の被害が発生しています(令和2年8月末現在)。また、被害に遭った方の大半が65歳以上の高齢者でした。今回は、特殊詐欺の手口を紹介するとともに、被害を防ぐ方法を紹介します。

【詳細】交通防犯課 電話25・6215

特殊詐欺の 手口

オレオレ詐欺



子供や孫^{かた}を騙って「会社の金を使い込んだ。返済のために金が必要だ」などと電話をかけ、金銭をだまし取る



預貯金詐欺

市役所等の職員を騙って「医療費還付の手続きをするので、キャッシュカードを取りに行く」などと電話をかけ、暗証番号を聞き出してキャッシュカードをだまし取り、口座から金銭を盗み取る

キャッシュカード詐欺盗

警察官等を騙って「キャッシュカードが不正利用されている」などと言って訪問し、キャッシュカードを封筒に入れるよう指示。被害者が目を離した際に、封筒を差し替えて盗み取る。また、キャッシュカードの端にはさみで切り込みを入れ、使えなくなったように見せ掛けて盗み取る被害も発生中

架空請求詐欺

「有料サイトなどの未払いがある。今日中に支払わないと裁判になる」などと電子メールやはがきを送りつけ、金銭をだまし取る



被害を防ぐために

旭川市では、市職員や警察官を騙り、医療費などのお金に関する預貯金詐欺の電話や被害が相次いで発生しています。市職員や警察官がお金に関する話をして、通帳やキャッシュカードなどを預かることは絶対にありません。こうした電話があった場合は、いったん電話を切り、市役所に電話をかけ直すか、110番通報をしてください。詐欺の手口は年々巧妙化しています。手口を知って、困ったときは周囲に相談してください。

北海道警察旭川方面本部 生活安全課
ひらつかよしひろ
警部補 平塚善裕さん

